

学術

■紫外線

発育や健康増進の健康線と殺菌効果に威力ある殺菌線。

利用される紫外線の波長範囲は一八五九三八〇nmでV-A(二五〇四〇〇nm)の範囲はUV-B(二八〇~三二五nm)でUV-C(二八五~三二五nm)では紅斑作用がある。この波長範囲の紫外線は皮膚を日焼けさせると体内のエルゴステリノンからビタミンDを生成し、カルシウムや人の代謝を促進し、人間の発育や健康増進に効果があるのでドルノ線または健康線といわれる。

UV-C(二八五~三二五nm)では光化学作用と蛍光作用がある。

使用されている30Wのランプであれば五〇cmの距離で約四分間照射すればよい。

次に波長範囲が一〇〇~二八〇nmをUV-Cと呼び殺菌作用がある。

特に六〇〇nm付近では作用は最大である。この殺菌紫外線源として殺菌ランプがある。15Wの殺菌ランプから一米の距離の放射率は〇・三W/m²で、太陽菌などは三分間でほぼ99%が死滅する。

理容店へ行くと、バリカ用がある。特に六〇〇nm付近では作用は最大である。この殺菌紫外線源として殺菌ランプがある。15Wの殺菌ランプから一米の距離の放射率は〇・三W/m²で、太陽菌などは三分間でほぼ99%が死滅する。

熱放射源の温度と放射エネ

ルギー分布の関係はプランクの放射則で示され、この式を

波長で微分するとウイーンの変位則と称して、最大波長×絶

度温度=二八九八×10⁻¹⁰(nm⁴)

Kで、放射源の温度が高くなると、放射エネルギーの最

大が増す。特に六〇〇nm付近

では作用は最大である。この殺

菌紫外線源として殺菌ランプがある。15Wの殺菌ランプから一米の距離の放射率は〇・三W/m²で、太陽菌などは三分間でほぼ99%が死滅する。

理容店へ行くと、バリカ

用がある。特に六〇〇nm付近

では作用は最大である。この殺

菌紫外線源として殺菌ランプがある。15Wの殺菌ランプから一米の距離の放射率は〇・三W/m²で、太陽菌などは三分間でほぼ99%が死滅する。

理容店へ行くと、バリカ

用がある。特に六〇〇nm付近

では作用は最大である。この殺

菌紫外線源として殺菌ランプがある。15Wの殺菌ランプから一米の距離の放射率は〇・三W/m²で、太陽菌などは三分間でほぼ99%が死滅する。

理容店へ行くと、バリカ

■赤外線

紫外線・赤外線の効用

電気工学科教授 佐土根範次



健康紫外線の単位はE-Viton

といい、紅斑効果の最も大きい波長二九六七mmの一〇μm

に相当する紅斑エネルギーを示す。一般に真夏の海岸で約

20分間直射日光を受けると、皮膚にやっと見分けられる紅斑を生ずる。その照射量を一MPE(minimum perceptible erythema)と称する。IMPE(=E-Viton/cm²)で保健

のためには毎日二MPEの照射が必要である。

赤外線機器として利用する場合には、赤外線放射温度計、酸化鉄やセラミックのように

保つため、適度のビタミンDを補給する必要がある。そ

れには夏の半そで姿であれば、海岸で約三分間、都会であれば

毎日五分間直射日光を受け

るといい。赤外線放射温度計、酸化鉄やセラミックによ

る美容院で女性に健康美を出

熱放射源による赤外線加熱・乾燥・焼付・赤外線暖房について

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる。

赤外線を照射する必要がある。

赤外線暖房について

■赤外線

赤外線は波長域によって近

赤外IR-A(七八〇nm)一・四

μm中赤外IR-B(一・四~三

μm)遠赤外IR-C(三μm

μm)に分けられる

